

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ひかり田村教室		
○保護者評価実施期間	8年 2月 9日		8年 2月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	8年 1月 28日		8年 2月 2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	8年 2月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちに合わせた個別課題の提供を行っています。	保護者と子どものニーズ、学年、利用年数を考慮して課題の設定をおこなっています。毎年4月には内容の見直しを行っています。中高生には就労課題として、地域のB型で行っている作業に寄せた課題の提供を行っています。	支援している中で気になった事(右手はできるが左手は苦手そうなど)では、保護者と相談しながらスモールステップでの課題の提供を行って参ります。
2	生活空間の構造化を子どもに分かり易く、細かに行っています。	児童が自ら理解して行動できる様に、パーテーションを使用しております。構造化することにより、自信を持って行動できる子供が増える事を意識しております。	子どもの状態に合わせて構造化を進めていきます。
3	その日の支援や役割分担の打ち合わせを行い、支援終了後には、気づいた点や意見をもち寄って「反省会」を行っています。	指導員が自ら発言してくれます。発言しやすい環境づくりや、お互いの意見を言い合える関係性も大切であると意識して、参加しています。	支援に関して、悩むことが大切であると感じています。「反省会」の時間は、悩んだり笑いあったりできるので、明日の支援に繋げられるように助言していこうと思います。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	障害を持つ子供たちの、地域住民の方々に対する理解促進をしたいと思います。	お買物体験や遠足、外食体験や地域行事の参加等を通して、地域で生活する障がい者の理解促進を図っています。少しずつ周知理解が進んでいる様に感じていますが、行事回数が少ないのも課題です。	行事を増やし、また曜日が固定しない様に考えていきたいと思っています。行事計画の段階で、地域の方との話し合いを行っていきます。
2	同じ学校の方も多いため、保護者同士の関係性はありますが、交流の場を提案していきたいと思っています。	子どもに対する計画が多く、保護者に対しては説明のみになっていたように思います。児童数が多いと、保護者が入れるか心配ではありますが、考えていきたいと思っています。	祖父母がキーパーソンの児童もいますので、お月見のお団子づくりなど、参加しやすい行事への促しを行い、交流の場を計画して行こうと思います。
3	第三者による外部評価が未実施です。	法人全体で課題に挙がっていない。	法人としての考え方を共有した上で、客観的な視点も持つ事で業務改善に繋がっていくと思われます。